

令和6年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

団体名	公益財団法人江東区文化コミュニティ財団	
施設名	江東区江東公会堂(ティアラこうとう)	
内定額	4,960	(千円)

1. 基礎データ

(1) 開館日数・事業本数・貸館日数

項 目		令和5年度	令和6年度
開館日数		339	339
年間事業本数（※1）	主催事業	34	37
	公演事業	8	7
	（内、本助成対象事業本数）	0	0
	人材養成事業	10	10
	（内、本助成対象事業本数）	5	5
	普及啓発事業	14	18
	（内、本助成対象事業本数）	0	4
	その他 内容： 友の会事業	2	2
	ホールごとの貸館日数	641	612
	ホール名： 大ホール 座席数： 1228	330	304
貸館日数	ホール名： 小ホール 座席数： 140	311	308
	ホール名： 記入してください 座席数： 記入してください		
	ホール名： 記入してください 座席数： 記入してください		
	ホール名： 記入してください 座席数： 記入してください		
	ホール名： 記入してください 座席数： 記入してください		

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

(2) 施設利用者数・利用率

項 目		令和5年度	令和6年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数	9,420	13,615
	公演事業	3,671	4,668
	人材養成事業	2,112	2,240
	普及啓発事業	3,637	6,707
	その他 内容： 記入してください	0	0
	貸館事業入場者・参加者数	333,449	301,945
	その他 内容： 記入してください		
	計	342,869	315,560
	施設の利用率(%)	62.5%	62.7%

※2 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設（美術館、図書館等）のみへの入場者数は除きます。

(3) 公演事業データ

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	入場者・参加者率	事業本数内訳						
						演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※4）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	23	49	10,361	70.1%	1	15	3		0	1	3
	共催・提携公演（※2）	76	91	37,407	69.1%	3	69	1		2		3
	貸館公演（※3）	489	677	295,101	70.0%	7	350	15		15	100	2
	計	588	817	342,869								
令和6年度	主催公演（※1）	22	54	13,193	75.2%	1	14	4			1	2
	共催・提携公演（※2）	71	120	59,269	76.3%	5	48	7	3	4		4
	貸館公演（※3）	350	709	333,511	68.6%	7	322	11		2	4	4
	計	443	883	405,973								

※1 名義主催は除きます。

※2 名義共催を含みます。

※3 「貸館公演」における「入場者・参加者数」及び「入場者・参加者率」は概算で構いません。

※4 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

2. 公演事業の実績記録と自己評価

(1) 各公演事業における 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標(値)

・ 令和6年度助成対象事業のうち公演事業について、助成対象事業ごとに自己評価を記入してください。

事業 番号	事業名	入場者数	入場 者率	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	備考
		目標 値							
		実績 値							
		目標 値							
		実績 値							
		目標 値							
		実績 値							
		目標 値							
		実績 値							
		目標 値							
		実績 値							
		目標 値							
		実績 値							
		目標 値							
		実績 値							
		目標 値							
		実績 値							
		目標 値							
		実績 値							
		目標 値							
		実績 値							
		目標 値							
		実績 値							

3. 自己評価

評価項目①:創造性・企画性

評価の観点
・(企画力)地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・(制作力)優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・(発信力・影響力)圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・(レジデントカンパニー・アーティスト)当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- ・ 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら、事業類型ごとに自己評価を記入してください。

	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
公演事業						
人材養成事業	1 人材養成事業への応募者数 2 終了アンケートでの満足度上昇	1 募集人数を上回る応募(10%以上) 2 80%が「満足した」と回答	1 応募者数は以下のとおり。 人-01ジュニアオケ 半期ごとに受講生を募集。募集人数に対して9%応募が上回った。 人-02ジュニア音楽祭 前年度より参加者数が下回った。 人-03ジュニアバレエ 半期ごとに受講生を募集。募集人数に対して23.5%応募が上回った。 人-04楽器のクリニック／人-05小野明子ワークショップ&コンサート 前年度同様の応募率である。 2 人材養成事業は全ての事業で80%以上「満足した」という結果である。	・人材養成事業において、次世代育成(ジュニアオケ、ジュニアバレエ)は当初目標としていた応募者数を達成することができ、芸術提携団体2団体とともに公会堂にとって特色ある事業として展開することができた。ビジョンとして掲げている「区民が自然に芸術文化に親しむことができる劇場」「芸術に親しむ青少年を育成する劇場」「若い芸術家を輩出する劇場」を達成するため、継続的に各所連携を図りながら事業を展開していく必要がある。 「人-01ジュニアオケ」について、応募は上回っているが今後の応募要件等の検討や参加率の向上、成果発表の場である定期演奏会の参加者をより増加させるため要因分析を進めつつ、次世代育成につなげていきたい。 「人-03ジュニアバレエ」について、募集人数に対して応募人数が上回り安定した運営状況といえる。質を維持しながら、芸術創造を行う場を地域ならびに希望することもたちに提供することで、地域の文化拠点としての機能を発揮していきたい。 前年度から減少または前年度同様となった事業について、継続して事業展開をするため要因を分析し次につなげていきたい。 ・ミッションとビジョンに基づき事業展開をした結果、全ての事業において高い満足度を得るという成果をあげることができた。		
普及啓発事業	1 全事業への参加者数 2 参加者の反応	1 募集人数を上回る応募(10%以上) 2 80%が「満足した」と回答	1 参加者数は以下のとおり。 普-01のはらカレッジ／普-03はじめての音楽会／普-04あ〜とふるDAY 前年度減である。 普-02アウトリーチ社会包摂 前年度より42%参加が上回った。 普-05バレエコンサート 前年度より13%参加が上回った。 2 普及啓発事業は全ての事業で80%以上「満足した」という結果である。	・普及啓発事業において、「普-01のはらカレッジ」は前年度と人数の数え方を変更した結果、参加者数が前年度より大きく下回る結果となった。 「普-03はじめての音楽会」、「普-04あ〜とふるDAY」は同日開催の事業で、開催時間および悪天候の影響を受ける結果となった。 「普-02アウトリーチ社会包摂」は実施施設を1か所増やすことができた結果、多くの方に見ていただける機会を創出することができた。 「普-05バレエコンサート」は、舞台芸術を初めて見る方にも分かりやすい内容を企画から携わって実施。その結果、目標を達成することができ参加者、公演に対する高い満足度が得られた。		

(2) 「創造性・企画性」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

すべての事業において、地域性や参加者の個性・自主性を活かしながら既存の枠にとらわれない発想で事業を実施した。さらに、関連団体と連携・協力をして企画・実施をしたことで人材養成事業、普及啓発事業ともに「満足した」という結果を得ることができた。

■ 人材養成事業

・人-01 受講生による講座の情報発信・受講生獲得のために運営委員会の立ち上げを行った。募集のお知らせや団員相互のコミュニケーションを図る取り組みを企画・実施。さらに、団員による定期演奏時の演奏曲の選曲等、自主性を尊重することで運営補助や企画の面で講座や公演に取り組むことができる体制づくりを行った。

・人-03 年間30回の講座(レッスン)に加え、さらなる表現力や技術力の向上を目的とした夏休み特別レッスンを実施。講師は、プロのバレエダンサーとして活躍していることに加え、ジュニアバレエ教室を卒業している先生に依頼した。レッスンのほかに交流を図れる場を創出したことで、悩みや将来に対するアドバイスを受けられる機会を創出した。

(アンケートから)

- ・色々な例えを使って教えてくれて分かりやすかった。また、いつもと違う視点での指導だったので勉強になった。
- ・男性の先生に教えて頂く機会はあまりないので、新鮮でよかったです。

■ 普及啓発事業

・普-01 障害者が主体となり表現できるワークショップとして実施。障害者自身が表現者となり得る自己表現の場を企画・提供・創出する機会とした。

(アンケートから)

- ・障害があると、どうしても親がつきっきりになってしまい、こんな近い距離ではじめての人と遊んだりふれあう機会がないので、とても良い体験でした。
- ・子どもを含めて多様な人と交流できて楽しかったです。
- ・普段関わることのない世代の方、障害のある方、ない方と笑顔にあふれるWSがすごい久しぶりな感覚でした。やさしさ、思いやり、企みが満ちていました。

・普-03 芸術提携団体の2団体とともに、0歳から入場可能な音楽とバレエの公演を実施。音楽ワークショップ・アーティストとともに親しみやすい公演を企画し、他会館では実施していないような特色あるオリジナル公演とした。

(アンケートから)

- ・子供も飽きないような司会の方の手ぶりや説明が素晴らしかったです。
- ・1才の子供がうるさくしても、楽しめるコンサートでした。知っている曲ばかりだったのでノリやすかったです。
- ・子供連れでお手頃な価格で良い演奏が聴けてありがたかったです。今後もこのようなイベントをお願いいたします。(子供連れOK、未就学児OK)

評価項目②:国際性(任意)

評価の観点
・(国際プレゼンスの向上)海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・(国際交流)アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・(新たな創客への取組)在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など

(2) 「国際性」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

評価項目③:地域文化拠点機能

評価の観点
・(文化拠点)地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携)地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供)次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。 ・ホール利用サービス(貸館事業)の向上 ※ ・自由設定の観点(任意)

※ ホール利用サービス(貸館事業)を行っていない場合は不要

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評定	所見	対応・追加情報など
1 アンケートにおける事業満足度 2 こども対象事業の参加率 3 友の会会員数 4 ホールボランティアの増員 5 区民割引設定の増加 6 施設利用アンケートによる利用満足度	1 昨年度は90. 2％であったので、それを超える 2 すべての事業において定員を上回る参加者を得る 3 前年度実績より10％増 4 前年度実績より10％増 5 前年度実績より10％増 6 85％を90％にする ※財団全体の施設利用満足度	1 当該年度は93. 6％である。 2 「人-01ジュニアオケ」71％(前年度75％)は前年度より下回り、「人-03ジュニアバレエ」99％(前年度95％)は前年度より上回った。 3 78％増。 4 前年度同数。 5 前年度から9％増。 6 当該年度は91％である。	・令和6年度は、地域の文化拠点として年間で143本の事業公演を展開。江東区芸術提携団体である東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京シティ・バレエ団と連携・協力をしつつ、両団体の事業を中心に幅広い年代や様々な種類の公演を実施した。 ・多様な公演を実施した結果、アンケートでの満足度は前年比3. 4％増加、それに伴い友の会の会員数も増加した(令和5年度5, 901名／令和6年度7, 545名)。 ・ホールボランティアは、ホール運営に興味がある方(主に江東区在住の方)を対象に、芸術文化施設の運営を体験してもらい文化振興に寄与することを目的に実施。地域の方に施設を理解してもらおうという側面を持ち合わせる。ボランティアの方のライフスタイル等々を要因としてなかなか定着、増員が望めていないが、募集公演を多くする等、工夫をして地域の文化拠点としての認識を深められるようにしている。 ・区民割引設定は目標値には僅かに達しなかったが、区民割引を設定することにより区民の参加を増加させることができた。		

(2) 「地域文化拠点機能」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

・人-01ジュニアオケ、人-03ジュニアバレエでは当区と芸術提携を結んでいるプロの2団体(東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京シティ・バレエ団)という地域の文化資源を活かして事業を展開。人-04楽器のクリニックや人-05小野明子と演奏するワークショップ & コンサートとともに、プロのアーティストと交流を図りつつ次世代育成に力を入れた。 (アンケートから) 人-01 ・いろいろな仲間と同じ音楽を作っていくという体験ができて良かった。 ・毎回楽しく練習に参加しています。きめ細かい指導で、とても有難いです。 ・オーケストラの一員として演奏できる機会がとにかく貴重。受講しているおかげでトランペットを続けることができています。 人-02 ・ジュニアオケの演奏会を毎回楽しみにしています。本日の音楽祭では、合唱団とこどもミュージカルとの合同ステージが楽しく素晴らしかったです。感動しました。ありがとう。ジュニアバレエ団との演奏も期待します。 ・楽しい音楽祭でした。子供たちが元気で良かったです。人-03 ・レベルの高い生徒たちがたくさんいる中で刺激を受けながらレッスンを受けられるのはとても嬉しいです。 ・オーディションを経て受講できるとあってレベルも高いと思いますし、そこに入れた事で自信や喜びとなり更なるレベルアップに繋がっていると思います。本人が毎回楽しみに通っているところが何よりも良いところだと思います。 ・こちらにお世話になって以来、みんなで作品を創りあげる素晴らしさを覚えしました。学年も所属教室も違うお友達から、良い刺激も受けているようです。そして、昨年の後半頃から、清子先生・講師の先生方の仰る『心で踊る』を少しずつ理解しようとしている姿も見られるようになりました。都外からお世話になっているのですが、こんなに素晴らしい機会をいただいていることに感謝しております。 ・トップキャリアの講師の先生方から学ばせていただき、本当に貴重な経験となりました。江東区のイベントや、新国立劇場のアイダの舞台に立たせていただけたことも大きな財産です。 人-04 ・大変勉強になりました。プロオケの金管の先生に指導を受ける機会などはなかなかなく、とても良かった。 ・プロオケの先生にマンツーマンでご指導いただけて非常に勉強になりました。 ・講義内容はとても分かりやすく、素晴らしかった。自信が付きました。この素晴らしさを多くの人に知っていただきたいです。 ・普-03はじめての音楽会、普-05バレエコンサートにおいて、公演の対象年齢を設けないことで地域住民や次世代を担うこどもたちに広く鑑賞機会を創出することができた。さらに、区民料金を導入したことで、地域の文化拠点としての機能を高めることができた。 ・普-04あ〜とふるDAY(館まつり)において、当区の芸術提携団体や地域の企業・店舗と連携し、こどもたちや地域住民に対して文化施設の利用促進とともに地域コミュニティの創出に取り組んだ。

評価項目④:多様性とアクセシビリティ

評価の観点
・(プログラムの多様さ)プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・(参画者の多様さ)アーティストやスタッフとして参画する人々の属性(性別、年代、居住地、他)が多様である。 ・(アクセシビリティ)障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状况等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
1 アウトリーチ事業の増加 2 窓口での外国人接遇のためのタブレットによる翻訳	1 前年度より10か所増 2 前年度より10%増	1 前年度より9か所増加。 2 実績不明。	・アウトリーチについて、前年度実施校18か所に対して27か所の実施。江東区芸術提携団体である東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団7か所と東京シティ・バレエ団7か所のプログラムに加え、江東区ゆかりの芸術家によるプログラムを7か所、国立劇場伝統芸能伝承者養成所協力のもと実施した伝統芸能のプログラムを4か所、社会福祉施設1か所、特別支援学校1か所実施した。社会包摂として、前年度1か所のみの実施であったが、2か所実施することができ多くの方に参加していただく機会を得ることができた。 ・窓口での外国人接遇について、翻訳アプリを入れたタブレットを窓口に設置し、外国人の接遇にて使用できる環境を整えた。回数をカウントしていなため実績不明ではあるが、利便性は向上した。併せて、コミュニケーションハンドブックを設置し、あらゆる人にとって利用しやすい環境を整えている。		

(2) 「多様性とアクセシビリティ」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

・アウトリーチ事業(社会包摂プログラム)は芸術提携団体の2団体とともに展開。実施後のアンケートからは、内容・公演の進め方・スタッフの対応すべて「満足」という回答であった。普段公演に足を運ぶことができない方々にも舞台芸術を届けることができた結果となった。 (アンケートから) ・児童にとって目の前でバレエを見ることができたのはとても貴重な経験となった。(特別支援学校) ・普段体験することができない内容のため、利用者様もとても満足されていました。(社会福祉施設) ・今回のようなプログラム(利用者様も知っている曲)の構成を今後とも組んでいただければと思います。(社会福祉施設) ・ご負担でなければ、今後とも定期的な開催をお願いできればと思っています。(特別支援学校・社会福祉施設) ・例年、福祉施設または特別支援学校のどちらか1か所のみしか実施をすることができなかったが、助成金により前年度より多くの方に見ていただく機会を創出することができた。

評価項目⑤: 自由設定(任意)

①創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性 の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。

評価の観点

- (1) 令和6年度の自己評価
- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など

評価項目⑥:運営体制と持続可能性

評価の観点		現状	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
「実現性」の評価項目より							
(ア)	(多様な財源の確保)予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。						
(イ)	(広報・営業力)広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。						
(ウ)	(他館連携)他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。						
(エ)	(設置者)円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。						
「持続可能性に関するチェックシート」より							
(オ)	(芸術監督)芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。						
(カ)	(長期的経営)長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。						
(キ)	(専門人材の確保)今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。						
(ク)	(職制の整理)芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。						
(ケ)	(世代間バランス)年齢バランスを考慮した人材確保を行っている(若年層の雇用に努めている)。						
(コ)	(ジェンダーバランス)女性管理職比率が30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。	現在、女性管理職比率は0%である。	管理職試験受験を推奨し、30%を目指す。	現在20%。	現在20%ではあるが、今後増加が見込まれており30%以上となる予定である。		
(サ)	(ワークライフ・バランス)仕事と育児・介護等の両立支援制度を整備し、推進している。						
(シ)	(コンプライアンス順守)情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。						
(ス)	(ハラスメント防止対策)職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。						
(セ)	(適正な契約事務)アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。						

4. 総評

・ 団体の自己評価

◆ 当財団は、「コミュニティの振興」と「文化の振興」を基本理念とし、地域社会の発展と豊かな区民生活の形成に寄与することを目的としており、当館は財団の基本理念に基づき設定したミッションやビジョンを踏まえて事業を展開している。そのすべての事業において、概ね当初の目標を達成することができた。

◆ 人材養成事業、普及啓発事業ともに若い芸術家の育成や芸術に親しむ青少年育成の場として、応募率と満足度は概ね目標以上の成果をあげることができた。一方で、参加者率は前年度事業と数え方を変更をしている事業や天候、他事業との調整不足で目標を超える成果をあげることができないものがあり、広く芸術文化に親しむことができる劇場を目指すため、今後の課題となった。

◆ 人材養成事業においては、芸術文化の将来の担い手を育成することで、江東区の文化的価値を高める目的を達成するためジュニアオーケストラ、ジュニアバレエ教室を運営し、年間の講座や発表の場の創出を通じて、専門の道へ進むこどもの数が増加していく結果を残すことができています。

◆ 普及啓発事業においては、障害者自身が表現者となり得る自己表現の場を企画・創出したことや、アウトリーチ社会包摂プログラムの企画・実施により多様な方が舞台芸術に親しむことができる機会を創出することができた。一方で、参加者が目標より下回っている事業については他事業との調整や企画などが課題であり、今後は見直しや過去事業を分析したうえで誰でも自然に芸術文化に親しむことができる場を提供できる会館を目指していきたい。

◆ 以上のことから、来年度以降は次世代の芸術文化の担い手の育成に継続して取り組むとともに、区民をはじめ誰もが芸術文化に親しむことができる機会を創出できるよう、関係各所と連携・協力をしながら取り組んでいきたい。

・ 所見

